

イチゴ「ゆうやけベリー」は 夜冷短日処理により収穫が早まる

福島県農業総合センター 作物園芸部 品種開発科

1 部門名

野菜－イチゴ－生理・生態

2 担当者名

三田村春香

3 要旨

本県育成イチゴ品種「ゆうやけベリー」の夜冷短日処理による効果は明らかにされておらず、現地からも効果の確認を要望されていた。そこで、「ゆうやけベリー」の苗を8月1日から22日間、暗期16時間、13°Cの予冷库で夜冷短日処理し、9月1日に定植したところ、頂果房の開花日、収穫日が無処理より3週間程度早くなった。

- (1) 夜冷短日処理を行うことで、頂花房の開花日、収穫日が早まった。それに伴い、第2、第3花房の収穫日も早くなった（表1）。
- (2) 夜冷短日処理を行うことで、収穫開始が早まり、11月の商品果収量は増加した。収穫期間中の商品果収量は無処理と同等であった（表2）。

表1 夜冷短日処理が「ゆうやけベリー」の開花日、収穫日、花数に及ぼす影響

処理区	頂花房			第2花房			第3花房			第4花房		
	開花日	収穫日	花数	開花日	収穫日	花数	開花日	収穫日	花数	開花日	収穫日	花数
夜冷短日処理	10/10	11/13	9.7	12/7	1/20	8.8	2/5	3/11	7.4	4/26	5/12	6.3
無処理	10/29	12/3	11.3	12/12	1/25	8.6	3/4	3/31	6.7	4/12	5/6	5.7

※開花・収穫日は、供試株の50%で確認された日

表2 夜冷短日処理が「ゆうやけベリー」の月別商品果収量に及ぼす影響（株あたり）

処理区	11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		計	
	個数 (個)	収量 (g)														
夜冷短日処理	3.5	40.9	2.8	27.2	2.8	59.0	4.9	69.7	4.5	81.7	1.0	12.7	2.9	35.1	22.2	326.3
無処理	1.1	20.4	4.8	68.1	4.9	64.7	3.2	47.4	2.3	37.5	3.3	45.6	2.7	31.5	22.2	315.1

※商品果収量は、6g以上の正常果（病害果、奇形果を除く）の合計である。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3～7年度
- (2) 研究課題名 個性豊かな県オリジナル野菜・花き品種の育成〔福島県農産物競争力強化事業(研究)〕

5 主な参考文献・資料

- (1) なし